

# やすらぎ

日本聖公会 九州教区 福岡聖パウロ教会  
〒810-0045 福岡市中央区草香江 2-9-22  
TEL 092-751-0097 FAX 092-751-9916  
発行人 司祭 バルナバ 牛島幹夫

251号

2020.2.23 発行

YASURAGI



## ～大齋節が始まります～

司祭 バルナバ 牛島幹夫

聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座しているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。更に、これをするしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい。(申命記 6:4-9)

いよいよ大齋節が始まります。大齋始日の礼拝に出ると、額に十字のしるしをつけられます。この大齋節が、十字架を身に帯びて過ごす46日間となるように祈ります。

大齋節は、悔い改めの時と言われます。悔い改めと訳された言葉はメタノイアというギリシャ語ですが、もともとは視点を変えるというような意味があるのだそうです。私たちの人生や日々の歩みを見つめる視点を変えるということです。

大切なことは「どこに」視点を変えるかということです。自分の生き方を振り返り、聖書のみ言葉を通して見つめることが、この大齋節に取り組むことではないかと思います。

冒頭に申命記の言葉を上げました。これは、ユダヤ人が毎日唱え、耳にした言葉です。イエスとファリサイ派の人が問答したときに、律法で最も大切な言葉としてあがってきたのもこの言葉でした。

この箇所には、「これをするしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい。」と書かれています。「えー！そこまでしなきゃいけないの？」と思うかもしれま

せんが、ここには、ユダヤの民が伝えた知恵があるように感じます。人間は、一番大切なこと、つまり神に従い神を愛することを、すぐ忘れてしまうということです。

さて、大齋節です。教会は大齋節に様々なことに取り組むことによって、簡単に神様から離れてしまう私たちが信仰生活を見直すように促してきたのだと思います。大齋節というと、黙想会、大齋節の集会、聖週の礼拝、大齋克己献金、などを思い浮かべるかもしれませんが、大齋節の取り組みは、どれをとっても私たちの信仰生活を神様へと向け直すために行っているのです。

今年の大齋節に、ぜひ取り組んで欲しいことが3つあります。

それは、1、聖書、2、祈り、3、十字架、です。○まず、1節でいいので聖書を毎日読みましょう。聖書の言葉が私たちを整えます。

スマートホンを持っている人は、聖書の言葉が画面に出るようにすることができます。

○毎日祈りましょう。朝起きて、「神様新しい朝を感謝します。」と祈るだけでも良いのです。

祈ることで神様を生活に招き入れましょう。

○十字架を自分の部屋のよく見えるところに置きましょう。十字架は信仰生活の道しるべです。

大齋節を過ごす私たちの歩みに祝福と導きをお祈りいたします。